



また、新規プロセスの中でも SEC.1~4 のプロセスは全ての開発レベル（車両レベルから車載製品レベルまで）の全ての開発領域（システム領域、ソフトウェア領域など）に柔軟に適用する必要のあるプロセスとなっています。例えば「SEC.1 サイバーセキュリティ要件抽出」のプロセス成果には、車両レベルでのみ対応すべき「サイバーセキュリティゴールの定義」が要求されている一方で、車載製品レベルのシステム領域やソフトウェア領域でも個別に対応すべき「サイバーセキュリティ要件の定義」も要求されています。本ガイドブックではこうした点にも着目し、開発レベルや開発領域によってどのようにプロセスモデルを解釈し、活動に落とし込んでいくべきかを、具体例を交えて解説します。（図2）

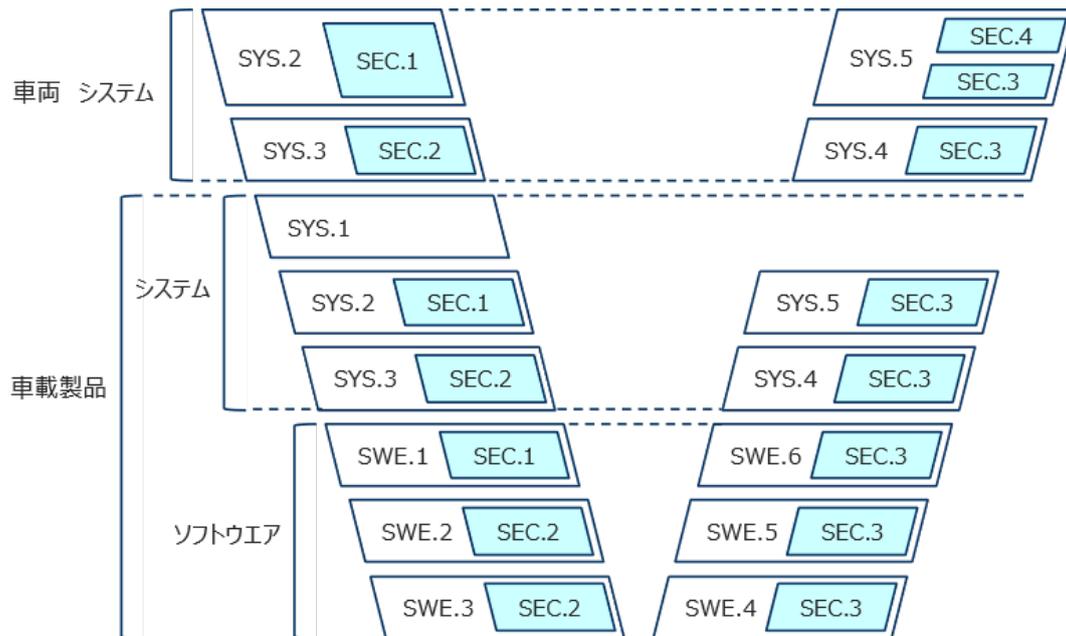


図2 SYS/SWE プロセスと SEC プロセスの対応イメージ

また弊社では、本ガイドブックに基づいたトレーニングも提供して参りますので、こちらのご利用も是非ご検討ください。

Automotive SPICE 3.1 実践ガイドブック 入門編 サイバーセキュリティ

ご購入お申込み URL

PDF 版 : <https://biz3.co.jp/publications/4451>

印刷製本版 : <https://biz3.co.jp/publications/4449>

サイバーセキュリティのための Automotive SPICE プロセス基礎トレーニング

申し込み URL : <https://biz3.co.jp/publictraining/4217>

2022/2/15 大野 貴正